

しろくまの語句直前追い上げ講座 第八回 問題編

前回の書き取りで「救急」というのがありました。ちょっと思い出したのですが、昔、灘中の入試問題で、「きゅうきゅう」のように、同じ音の繰り返しで、しかも違う漢字の組み合わせの二字熟語をあげよ、というものがありませんでした。「ちょうちょう」は「町長」、ちょっと古いですけど軍人の位階の「少将」なんかはこれにあたりますよね。ほかに「時事」は「じじ」です。あと三つくらい、こういう例はあげられるでしょうか。考えてみてくださいね。

問題一 線が引いてある漢字の読みを、カタカナで書かれている部分は当てはまる漢字を()に書きなさい。

- 一 身の「縮()む」思いをする。
- 二 春の「兆()し」が感じられる。
- 三 服に油が「染()みる」。
- 四 「過()ち」を反省する。
- 五 夕日に「映()える」山。
- 六 真相を「キュウメイ()」する。
- 七 ソッコウ()所を見学する。
- 八 コクモツ()を輸入する。
- 九 フトン()をたたむ。
- 一〇 砂浜をスアシ()で歩く。

問題二 あてはまる漢字を書きなさい。

- 一 アス()、伊勢神宮にお参りに行きます。
- 二 オトナ()料金を支払う。
- 三 カワラ()でバーベキューをする。

- 四．キノウ（ ） 、 しゃぶしゃぶを食べに行きました。
- 五．キョウ（ ） 、 妻と買い物にいった靴を買わされた。
- 六．しろくまは、クダモノ（ ） が大好きです。
- 七．ケサ（ ） は、寝過ぎして朝食をとらなかつた。
- 八．美しいケシキ（ ） に感動した。
- 九．コトシ（ ） は寅年です。
- 一〇．（ ） 山奥で、シミズ（ ） が湧き出ている場所を知っています。
- 一一．こま回しがジョウズ（ ） な子ども。
- 一二．サシツカ（ ） えなければお名前をお教えください。
- 一三．タナバタ（ ） の笹（ささ）を用意する。
- 一四．ツイタチ（ ） には、いつもお寺にお参りしています。
- 一五．友人に引越しをテツダ（ ） ってもらいました。
- 一六．しろくまは、トケイ（ ） を集めるのが趣味です。
- 一七．しろくまは、文学ハカセ（ ） の称号をとろうとしてだめでした。
- 一八．成人はハタチ（ ） からです。
- 一九．毎月ハツカ（ ） が支払いの日です。
- 二〇．しろくまは、ヒトリ（ ） で旅するのが好きでした。
- 二一．温泉でフツカ（ ） 過ぎました。
- 二二．しろくまは、絵を描くのがヘタ（ ） です。
- 二三．しろくまのヘヤ（ ） はきれいに整理できています。
- 二四．百貨店でマイゴ（ ） になる。
- 二五．マッカ（ ） になって怒っていた。
- 二六．テストの結果をみてマッサオ（ ） になった。
- 二七．しろくまは、メガネ（ ） をかけています。
- 二八．しろくまは、落語をききに、ヨセ（ ） によく行きます。
- 二九．しろくまはイクジ（ ） 無しです。

問題作成：しろくまん ファイル作成：sotonohito 外の人 <http://shirokumafan.wordpress.com/>

三〇

モヨリ

（ 駅は阪急の御影駅です

さて、前回に引き続き、昭和60年代のヴィンテージ書き取りを紹介しますね。読みと書き取りをしてみましょう。読みには「」をつけておきます。

- 一. 身の「縮（ ）む」思いをする。
- 二. 春の「兆（ ）し」が感じられる。
- 三. 服に油が「染（ ）みる」。
- 四. 「過（ ）ち」を反省する。
- 五. 夕日に「映（ ）える」山。
- 六. 真相を「キュウメイ（ ）」する。
- 七. ソッコウ（ ）所を見学する。
- 八. コクモツ（ ）を輸入する。
- 九. フトン（ ）をたたむ。
- 一〇. 砂浜をスアシ（ ）で歩く。

「過ち」は「読み3以上おくりがな1」で紹介しました。「映える」も「3大ハエる」で紹介しました。よく入試で出ているでしょう？

「フトン」は「布団」。これも特別な読み方の一つです。

今回は、小学校配当漢字で、しかも特殊な詠み方として中学入試で出題してもよいものをご紹介します。独立書き取り題で1題は含まれている場合があるものばかりですので、これくらいは入試までにおさえておいてもいいでしょうね。

- (1) アス、伊勢神宮にお参りに行きます。
- (2) オトナ料金を支払う。
- (3) カワラでバーベキューをする。
- (4) キノウ、しゃぶしゃぶを食へに行きました。
- (5) キョウ、妻と買い物にいて靴を買わされた。
- (6) しろくまは、クダモノが大好きです。
- (7) ケサは、寝過ごして朝食をとらなかつた。
- (8) 美しいケシキに感動した。
- (9) コトシは寅年です。
- (10) 山奥で、シミズが湧き出ている場所を知っています。

- (11) こま回しがジヨウズな子ども。
- (12) サシツカえなければお名前をお教えください。
- (13) タナバタの笹(ささ)を用意する。
- (14) ツイタチには、いつもお寺にお参りしています。
- (15) 友人に引越しをテツダってもらいました。
- (16) しろくまは、トケイを集めるのが趣味です。
- (17) しろくまは、文学ハカセの称号をとろうとしてみました。
- (18) 成人はハタチからです。
- (19) 毎月ハツカが支払いの日です。
- (20) しろくまは、ヒトリで旅するのが好きでした。
- (21) 温泉でフツカ過こしました。
- (22) しろくまは、絵を描くのがヘタです。
- (23) しろくまのヘヤはきれいに整理できています。
- (24) 百貨店でマイゴになる。
- (25) マツカになって怒っていた。
- (26) テストの結果をみてマツサオになった。
- (27) しろくまは、メガネをかけています。
- (28) しろくまは、落語をききに、ヨセによく行きます。
- (29) しろくまはイクジ無しです。
- (30) モヨリ駅は阪急の御影駅です。

どうでしょう。実際にこれらは小学校で習うので中学入試にも出題されています。書き取りはもちろん、読みでも出るので知っておいて損はありませんよ。(ではまた続きを…)

解答編

く語句直前追い上げ講座く⑧

- (1) ちぢむ (2) きざし (3) しみる (4) あやまち (5) はえる
- (6) 究明 (7) 測候 (8) 穀物 (9) 布団 (10) 素足
- (1) 明日 (2) 大人 (3) 河原 (4) 昨日 (5) 今日 (6) 果物 (7) 今朝 (8) 景色
- (9) 今年 (10) 清水 (11) 上手 (12) 差し支え (13) 七夕 (14) 一日 (15) 手伝つ
- (16) 時計 (17) 博士 (18) 二十歳 (19) 二十日 (20) 一人 (21) 二日 (22) 下手
- (23) 部屋 (24) 迷子 (25) 真こ赤 (26) 真こ青 (27) 眼鏡 (28) 寄席 (29) 意気地
- (30) 最寄り

しろくまの語句直前追い上げ講座 第七回 解答編

問題一 昭和60年代の漢字の書き取りです。

- 一 ぼうしをマブカ（目深）にかぶる。
- 二 先生からお話をウケタマワ（承）る。
- 三 キュウキュウ（救急）病院に入院する。
- 四 すばらしいセイセキ（成績）を残す。
- 五 アトシマツ（後始末）をきちんとする。
- 六 テイサイ（体裁）を気にする。
- 七 新しい知識をキュウシュウ（吸収）する。
- 八 オウフク（往復）切符を買う。

いずれもかんたんですが、漢字の書き取りのポイントをしっかりふまえた良問なんですよ。

たとえば、一・六は、

★ **かんたんな字で、「とくべつな読み」をするものをおぼえる。**

というポイントです。

前にも言いましたが「目」は「め」ですが、「ま」という読みもあるのです。

「目の当たり」で「まのあたり」。もちろん「目の辺りのできもの」ならば「めのあたり」ですけどね…

「体裁」は読みでも有名。「体」は「タイ」以外に「テイ」という読みもあります。

「世間体」は「セケンテイ」です。「体たらく」も「テイたらく」と読みます。

二の「承る」ですが、この中では唯一の熟語型ですよ。長い読みなのにおくりがなは1文字。

「トドコオる」「滞る」も長い読みですが、これ実は、小学校配当漢字ではありません。

実は、訓読み型の頻出漢字には法則があって、

★ 「読み3文字以上送りがな1」をおぼえる。

が、ポイントになります。直前は、このようなものばかり集めてやっておく、というの
も効率的です。

えく さがすのめんどくさいく と思われるでしょうから、しろくまがまとめておきま
すね。

問題二 読み3文字以上送りがな1の漢字

- 一 人形をアヤツ（操）る。
- 二 アヤマ（過）ちをおかす。
- 三 かんたんな漢字をアヤマ（誤）る。
- 四 無礼をアヤマ（謝）る。
- 五 新しい参考書をアラワ（著）す。
- 六 しろくまが姿をアラワ（現）す。
- 七 音楽で気持ちをアラワ（表）す。
- 八 イキオ（勢）いがある。
- 九 イサギヨ（潔）い態度をとる。
- 一〇 けっこうなものをイタダ（頂）く。
- 一一 コーヒー店をイトナ（営）む。
- 一二 さいふをウシナ（失）う。
- 一三 ほんとうかどうかウタガ（疑）う。
- 一四 年上の人をウヤマ（敬）う。
- 一五 足りないところをオギナ（補）う。
- 一六 オゴソ（嚴）かなふんいきの神社。
- 一七 オサナ（幼）い弟のめんどうをみる。
- 一八 カナラ（必）ず迎えに行きます。

- 一九 将来、医師になることをココロザ（志）す。
- 二〇 ココロヨ（快）く引き受けてくれた。
- 二一 サイワ（幸）いけがはなかった。
- 二二 法律にシタガ（従）う。
- 二三 一線からシリゾ（退）く。
- 二四 田畑をタガヤ（耕）す。
- 二五 正面からタタカ（戦）う。
- 二六 和をトウト（尊）ぶ。
- 二七 準備がトトノ（整）う。
- 二八 引越して家具などがようやくトトノ（調）う。
- 二九 いっしょうけんめいハタラ（働）く。
- 三〇 正しい方向にミチビ（導）く。
- 三一 ミズカ（自）らすんで仕事を引き受ける。
- 三二 ミジカイ（短）いスカートをはくな！
- 三三 ワザワ（災）い転じて福となす。

小学校配当漢字で「読み3以上おくりがな1」はこれだけ！ これはすべておぼえて入試をおかえましようね。

さて、四・八は「成績」「往復」など、「部首誤認」を問うものですよね。
「成績」「体積」は「いとへん」と「のぎへん」の相違に注意。
「往復」「複雑」は「ぎょうにんべん」と「ころもへん」の相違に注意。
ということになります。

漢字の書き取りも、たくさんやるのもよいですが、ポイントをおさえて深めて確実におぼえるほうが効率的です。社会や理科にたくさん時間を回しましょう（ではまた続きを書きますね）